

Ⅱ章　復興まちづくりの基本構想

双葉町の復興まちづくりの基本理念である「町民一人一人の復興」と「町の復興」を進めるため、「双葉町復興まちづくり計画（第二次）」においても、「町の再興」、「生活重建」及び「町民のきずな・結びつき」の3つの基本目標の下、計画を策定しました。

Ⅱ章 復興まちづくりの基本構想

1. 復興まちづくりの基本理念と基本目標

- 「双葉町復興まちづくり計画（第一次）」において、双葉町の復興まちづくりの「復興像」として、2つの基本理念と3つの基本目標を定めました。
- 第二次計画においても、この考え方を踏襲し、『“町民一人一人の復興”と“町の復興”をめざして』を基本理念とし、3つの基本目標の下で、双葉町の復興に向けて全力で取り組んでいきます。

基本理念

“町民一人一人の復興”

“町の復興”

基本目標

町の再興

子どもたちの未来のために とりもどそう 美しいふるさと双葉町

生活再建

暮らしの復興をめざして みんなで頑張ろう 双葉町

町民のきずな・結びつき

つなげよう つながろう 双葉町

2. 双葉町の再興に向けたイメージ

(1) 双葉町の将来像



(2) 復興まちづくりの3つの視点

●多様な立場・考え方の相互理解、町民一人一人の選択の尊重

震災から年数が経過する中で、町民の置かれている状況は様々です。町としても、町民一人一人の選択を尊重しながら復興まちづくりを推進します。

●民間と行政との協働による町民の力の結集

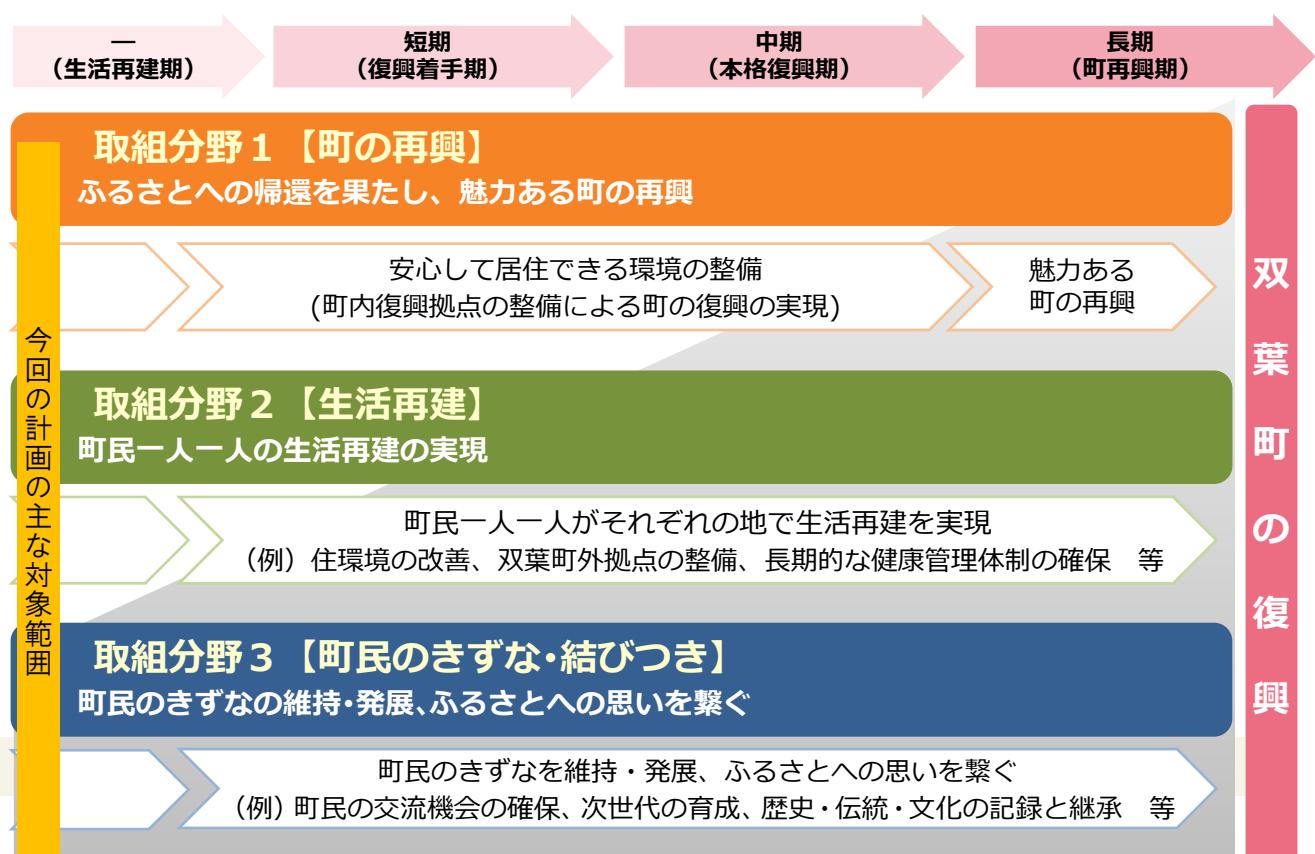
双葉町の復興は、民間の力だけでも行政の力だけでも成しません。まちづくり会社等を活用した、民間と行政との協働により、町民主体の復興まちづくりを推進します。

●広域連携による双葉郡の力の結集

双葉町を含め、双葉郡の復興に向けた取組は今後とも続きます。こうした中、周辺市町村との広域連携を図り、双葉郡の力を結集した復興まちづくりを目指します。

(3) 双葉町の復興・再興に向けた3つの取組分野

- 双葉町の将来像を思い描きながら、町の復興に向けて段階的に取り組んでいきます。
- 双葉町への帰還が可能となるまでには、今後とも年単位の時間が必要です。そのため、第二次計画においても、復興まちづくりの基本目標に沿い、大きく3つの取組分野に分類して復興に向けた各種取組を進めていきます。



施策体系図

基本
理念

3つの取組分野

復興に向けた各種取組

**【町の再興】
ふるさとへの帰還を
果たし、魅力ある町の
再興**

魅力あるふるさと双葉町
の再興に向けた、まちづ
くりの基本的な考え方につ
いて整理。



**【生活重建】
町民一人一人の
生活重建の実現**

不自由な避難生活の改善
と、自立した生活を再建し、
健康的で生き生きとした生
活を実現していくための取
組について整理。

①JR双葉駅周辺における「住む拠点」の整備

- 新市街地ゾーン
- まちなか再生ゾーン

②中野・両竹地区における「働く拠点」の整備

- 新産業創出ゾーン
- 再生可能エネルギー・農業再生モデルゾーン

③浜野地区における「発信拠点」の整備

- 被災伝承・復興祈念ゾーン

④町内復興拠点の広がりとしての段階的な整備

- 耕作再開モデルゾーン
- 共同墓地の整備

⑤関連インフラの整備

- 復興シンボル軸（県道井手長塚線等）の整備等
- 海岸堤防・防災林
- 町道、上下水道の整備

“町民一人一人の復興”と“町の復興”をめざして

**【町民のきずな・結びつき】
町民のきずなの維持・
発展、ふるさとへの思
いを繋ぐ**

町民のきずなを維持・発
展させ、次世代を育み、
ふるさとを繋いでいくた
めの取組について整理。

**①町民のきずなの維持・
発展に向けた取組**

- 町民の交流機会の確保
- 町からの情報提供の充実・円滑化

**②次世代を育み、ふるさ
とを繋いでいくため
の取組**



- 双葉町を担う次世代の育成
- 教育環境の充実
- ふるさとの荒廃防止等
- 双葉町の歴史・伝統・文化の記録と継承
- 震災・事故の教訓と復興の過程の記録・発信・伝承



